

いつか空に  
帰りたいな



mikatuki98



空で居眠りをしていた星が、あやまって海に落っこちてしまいました。  
だけど寝ぼけた星は、まだ自分は空にいたと思っていました。

翌朝、星が目覚めると周りには誰も居ません。  
それどころか、身体がぷかぷか浮いて何だか変な気分です。  
そのうち星は大きな波に乗って、砂浜に打ち上げられました。  
「一体ココは何処なんだ？」

夜が来るまで、星は身動きが出来ないまま空を見上げていました。

そして夜が来て星の仲間たちがキラキラ光出すと、  
やっと自分が空から落っこちてしまったことに気が付きました。

「いつか空に帰りたいな」

それから星は、毎晩のように仲間たちのキラキラを眺めながら、  
いつか空に帰れる日を夢見ていました。  
だけど星は、波の音を聞きながら、いつしか星の砂になっていました。